

TOHO ZINC CO., LTD.

# 株主の皆様へ

第123期 中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日

⑤ 東邦亜鉛株式会社

証券コード: 5707



代表取締役社長 丸崎 公康

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、当社グループの第123期上半期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）につきまして、事業の概況並びに決算状況をここにご報告申しあげます。

金属相場は、欧米の金融緩和政策の継続や世界的なワクチン接種の広がりで経済活動も回復見通しとなり、また、気候変動対策において銅やニッケルの需要増が期待されることで、ベースメタル全体が上昇基調となりました。一方為替相場は、円/米ドルにおいて円安傾向が続いたものの、豪州の鉱山会社であるCBH Resources Ltd.（以下、「CBH社」という。）に影響を与える米ドル/豪ドルにおいて、資源価格の高騰により豪ドル高（資源事業の業績にマイナスの影響）となりました。

販売面では、前年同期においてコロナ禍で大きな影響を受けましたが、当年度において全ての事業部門で回復する動きが見られました。

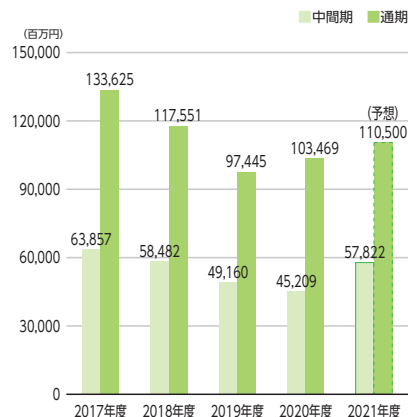
このような状況のなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、前年同期比での金属相場高や

## 経営理念

- 1 “顧客”を満足させる良質の製品・サービスを提供する。
- 2 “株主”の期待に応える業績をあげ、企業価値の増大を図る。
- 3 “従業員”の生活を向上させ、働き甲斐のある会社にする。
- 4 “地域”の一員として認められ、地域にとって存在価値のある会社を目指す。

## 連結業績データ

### ▶ 売上高の推移



亜鉛・鉛の増販などもあり、連結売上高は前年同期比で28%の増収となりました。

損益面では、製錬事業での買鉱条件の悪化や低価法評価益の剥落などの減益要因はあったものの、金属相場高や販売増等による増収により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期比で増益となりました。

下半期の見通しにつきましては、営業利益は増益要因（市況の上昇）と減益要因（電力代・コークス等の値上がり）が相殺し、通期の経常利益と当期純利益は8月時点の予想どおりとなる見込みです。

一方で、足元の半導体不足により自動車生産台数が大きく落ち込んでおり、一部メーカーの増産見込みはあるものの、当社の製品販売動向は予断を許さない状況であると認識しております。

なお、期末配当予想は50円としておりますが、需要動向や金属相場については不透明感が強く、第3四半期の業績公表時にはある程度数字も固まっておりますので、その時点で総合的に判断いたします。

## 第12次中期3カ年計画の進捗

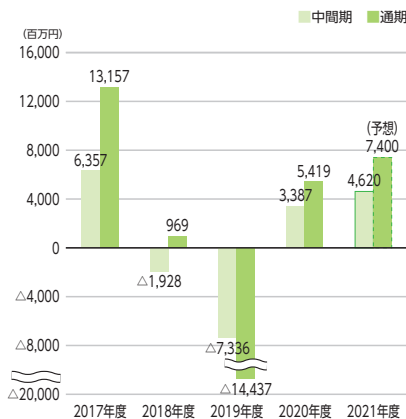
当社は「再生から新たな挑戦へ」をスローガンに掲げ、2021年4月より第12次中期3カ年計画に着手し、確実に遂行しております。

市況リスクテイクの適正化については、市場リスク管理委員会を月次開催し、市況リスク等の定量化を行い、自己資本や決算への影響をモニタリングしております。また、川下事業の強化については、開発部門を強化し、高純度電解鉄、資源リサイクル、電池材料といったテーマに取り組んでおります。製錬事業については、安中製錬所は焙焼・製酸設備を11月に停止し、亜鉛製錬設備の重複機能を廃止することでコンパクト化に向け前進しております。一方、契島製錬所は競争力強化を目指し、リサイクル原料の増処理と、貴金属の増産に向けた具体策の検討を開始しました。

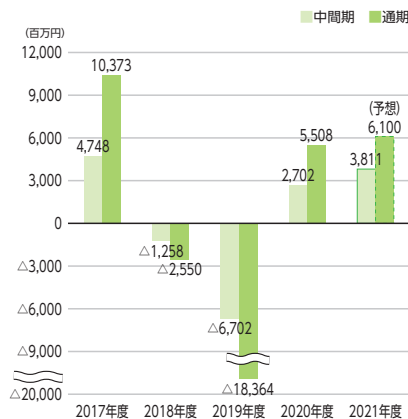
株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2021年12月

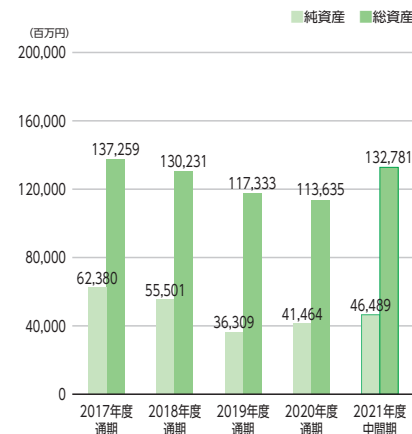
### ▶ 経常利益の推移



### ▶ 親会社株主に帰属する四半期純利益の推移



### ▶ 純資産、総資産の推移

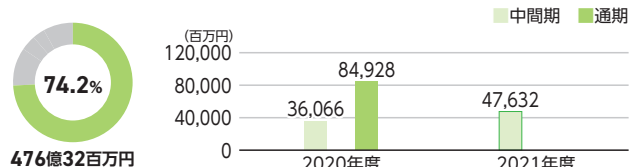


## 製錬事業部門



売上高476億32百万円  
前期比32%増

主要な事業内容  
亜鉛製品、鉛製品、電気銀、硫酸



### 《亜鉛》

LME相場は、期初2,766ドル/トンでスタートしたのちは高い水準を維持し、期中平均は2,954ドルとなり、前年同期(2,150ドル)比で大幅上昇となりました。国内価格も期中平均377千円/トンと前年同期(284千円)を上回り、これに加えて増販の影響もあり、売上高は前年同期比53%の増収となりました。

### 《鉛》

LME相場は、期初1,943ドル/トンでスタートしたのちは高い水準を維持し、期中平均は2,234ドルとなり、前年同期(1,773ドル)を上回りました。国内価格も期中平均305千円/トンで前年同期(253千円)を上回り、これに加えて増販の影響もあり、売上高は前年同期比44%の増収となりました。

### 《銀》

ロンドン銀相場は、期初24.3ドル/トロイオンスでスタートしたのちは高い水準を維持し、期中平均は25.5ドルで前年同期(20.4ドル)を上回りました。国内価格も期中平均91,622円/キログラムと前年同期(71,350円)を上回りました。前年同期比では減販となったものの、相場上昇の影響が大きく、売上高は前年同期比16%の増収となりました。

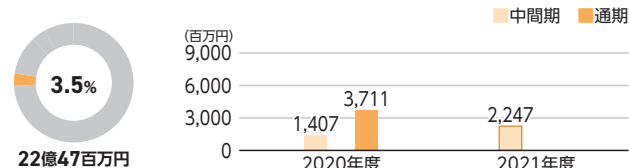
以上のほか、硫酸などその他の製品を合わせた当事業部門の業績は、前年同期比での金属相場の上昇や亜鉛・鉛の増販もあり増収となりました。一方損益面では、金属相場改善による増益効果もあったものの、主に亜鉛の買鉱条件が悪化したことや、在庫評価益が減少(前年同期は金属相場が上昇局面にあり、多額の在庫評価益を計上したが、当四半期は、金属相場が高値安定のため、在庫評価益が限定的)したこともあり、前年同期比では若干の増益にとどまりました。

## 環境・リサイクル事業部門



売上高22億47百万円  
前期比60%増

主要な事業内容  
酸化亜鉛、硫酸リサイクル



コロナ禍の影響を大きく受けたタイヤメーカーの生産量が回復したことや、亜鉛価格が前年同期比で高かったことから、酸化亜鉛を主力製品とする当事業部門の業績は前年同期比で増収増益となりました。

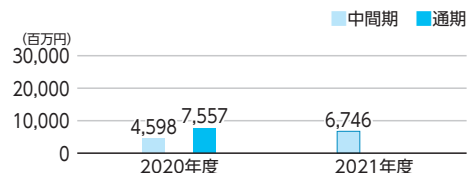
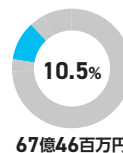
※各事業部門の売上高には、事業部門間売上高を含みます。

## 資源事業部門



売上高67億46百万円  
前期比47%増

主要な事業内容  
亜鉛鉱石、鉛鉱石



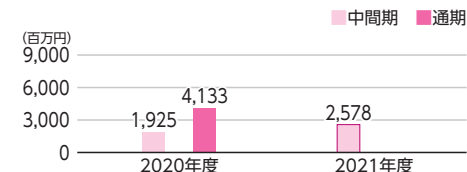
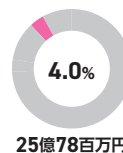
2020年第3四半期より豪州ラスプ鉱山で減産操業に移行したことから、前年同期比では生産減となったものの、鉱石品位の改善で単位当たり製造原価が改善したこと、及び金属相場の上昇もあり、売上高は増収、営業利益は増益となり黒字へと転換いたしました。

## 電子部材・機能材料事業部門



売上高25億78百万円  
前期比34%増

主要な事業内容  
電子部品、電解鉄、  
プレーティング製品、粉末冶金製品、バランスウエイト



### 《電子部品》

電子部品事業は、コロナ禍の影響からの回復により、車載向けを始めOA機器向けや産業機器向けも受注が増加し、前年同期比で34%の増収となりました。

### 《電解鉄》

電解鉄事業は、コロナ禍の影響を大きく受けた米国の航空機や国内の自動車用の特殊鋼向けが回復し、売上高は前年同期比42%の増収となりました。

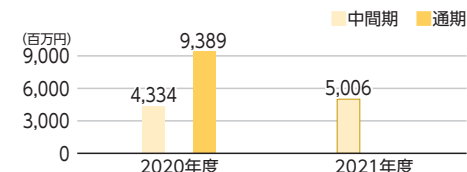
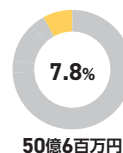
以上のほか、プレーティング事業及び機器部品事業を合わせた当事業部門の業績は、前年同期比で増収増益となりました。

## その他事業部門



売上高50億6百万円  
前期比16%増

主要な事業内容  
防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、  
運輸、環境分析



防音建材事業、土木・建築・プラントエンジニアリング事業、運輸事業、環境分析事業等からなる当事業部門の業績は、運輸事業でコロナ禍の影響から回復し生産・販売量が増えたことで運送荷物やリサイクル原料等の扱い量が増えたことなどもあり、前年同期比で増収増益となりました。

## 会社概要

- **本社** 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号  
電話 (03) 6212-1711 (代表)
- **設立** 1937年3月5日
- **資本金** 14,630,708,899円
- **従業員数** 単体：703名、連結：1,054名
- **事業内容** 製錬事業、環境・リサイクル事業、資源事業、  
電子部材・機能材料事業、防音建材事業

### 取締役

- |            |       |                    |
|------------|-------|--------------------|
| 代表取締役社長    | 丸崎 公康 |                    |
| 取締役兼専務執行役員 | 山岸 正明 | 管理本部長<br>兼システム統括部長 |
| 取締役        | 中川有紀子 | (社外取締役)            |
| 取締役        | 武藤 雅俊 | 常勤監査等委員<br>(社外取締役) |
| 取締役        | 大坂 周作 | 監査等委員<br>(社外取締役)   |
| 取締役        | 今井 力  | 監査等委員              |

### 執行役員

- |        |       |                                   |
|--------|-------|-----------------------------------|
| 専務執行役員 | 田島 義巳 | 技術・開発本部長<br>兼金属・リサイクル事業構造改革担当     |
| 常務執行役員 | 伊藤 正人 | 電子部材事業部長<br>兼藤岡事業所長<br>兼機能材料事業部担当 |
| 常務執行役員 | 大久保 浩 | 総務本部長兼総務部長<br>兼CSR推進室長            |
| 執行役員   | 飯塚 茂  | 契島製錬所長                            |
| 執行役員   | 中川 英樹 | 資源事業部長<br>兼資材調達部長<br>兼ソフトカーム事業部担当 |
| 執行役員   | 森田 英治 | 安中製錬所長<br>兼機器部品事業部担当              |
| 執行役員   | 有本 龍平 | CBH Resources Ltd.<br>CEO         |
| 執行役員   | 高橋 康司 | 小名浜製錬所長                           |
| 執行役員   | 佐藤 義和 | 金属・リサイクル事業部長<br>兼リサイクル営業部長        |

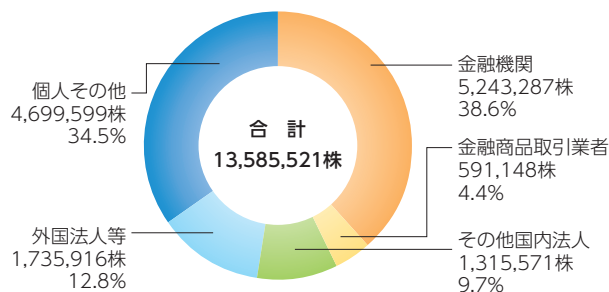
## 株式の状況

- **発行可能株式総数**……………26,400,000株
- **発行済株式の総数**……………13,585,521株
- **株主数**……………11,194名
- **大株主**

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,921	21.5
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	961	7.0
三菱商事RtMジャパン株式会社	400	2.9
三菱UFJ信託銀行株式会社	267	2.0
株式会社日本カストディ銀行 (証券投資信託口)	225	1.7
株式会社扇谷	200	1.5
松井証券株式会社	181	1.3
JP MORGAN CHASE BANK 385781	146	1.1
株式会社池田泉州銀行	140	1.0
JPMBL RE J.P. MORGAN SECURITIES PLC COLL EQUITY	126	0.9

(注) 持株比率は自己株式を控除して算出しております。

### 株式所有者別分布状況



## グローバルネットワーク



- A** 本社
- B** 大阪支店
- C** 名古屋支店
- D** 安中製錬所
- E** 契島製錬所
- F** 小名浜製錬所
- G** 藤岡事業所

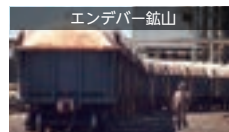


- A** 大連天馬電器有限公司 (中国：大連)
- B** 天津東邦鉛資源再生有限公司 (中国：天津)
- C** 諸城華日粉末冶金有限公司 (中国：諸城)
- D** 東邦亜鉛(上海)貿易有限公司 (中国：上海)
- E** 東邦亜鉛香港有限公司 (中国：香港)



CBH Resources Limited  
Level 10, 99 Mount Street,  
North Sydney NSW 2060 Australia

- A** 本社
- B** ラスパ鉱山
- C** エンデバー鉱山



- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 基準日 3月31日、その他必要により取締役会で決議した日
- 配当金支払株主確定日 3月31日及び中間配当を実施するときは9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 公告の方法 電子公告 <http://www.toho-zinc.co.jp/>  
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
(お問い合わせ先) 東京都府中市日鋼町1番1号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
フリーダイヤル0120-232-711  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## (ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 当社WEBサイトのご案内



当社WEBサイトでは、決算短信等、最新会社情報を「IR情報」に掲載しております。今後も、株主・投資家の皆様にお役立ていただけるよう工夫を加え、掲載情報のより一層の充実を図ってまいります。

<http://www.toho-zinc.co.jp/ir/>

東邦亜鉛 IR 検索